

# ホタル学校だより

## 第10回 鳥川ホタルまつり オープニングイベントを開催しました！



6月2日(土)岡崎市ホタル学校で毎年恒例の「鳥川ホタルまつりオープニングイベント」が行われました。

ホタルシーズンに合わせて行われているイベントで、今年で10回目となります。

目玉プログラムは、【オカリナ奏者 黒野宏通氏】によるホタルのタペコンサートです。黒野氏はオカリナ&ギター奏者であり、オカリナの製作・販売も手掛けております。

岡崎市ホタル学校の前身である鳥川小学校の児童と何年も交流を重ね、当時の子どもたちはソプラノリコーダーの代わりに黒野さんのオカリナで音楽の授業を行っていました。

閉校後初めての鳥川でのコンサートとなり、澄み切った音色が郷愁を誘いました。

イベントの最後は、鳥川町特製「猪汁」の振る舞いです。

前日から鳥川ホタル保存会の方々が腕によりをかけて仕込んだ大鍋2杯の猪汁は圧巻！

振る舞いが始まる前から長蛇の列になりました。



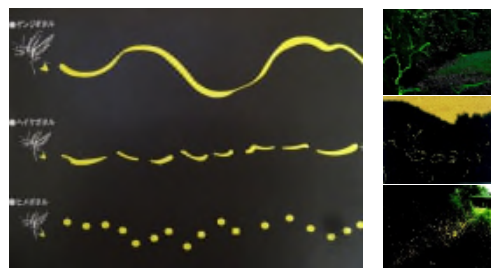
イベント当日は約600匹のゲンジボタルの光りの舞が見られ、その幻想的な光景に皆さん心を奪われたことと思います。また、ホタル案内所では五平餅などの露店も出ており、こちらも大変多くの人で賑わいました。



この日は天候にも恵まれ、ホタル学校の2階テラスで星空観望会も開催しました。

大きな望遠鏡を使い、初めて見る鮮明な月のクレーターや木星の縞模様にも子どもから大人まで、ホタルの飛翔とともに楽しんでもらいました。

## ホタル学校歳時記 (No.17) ゲンジボタルの飛翔と発光の秘密あれこれ



飛翔軌跡の違い

上：ゲンジボタル

中：ヘイケボタル

下：ヒメボタル

### ア) サナギ期間の短縮、成虫の小型化

近年、卵・サナギの期間が短くなっていたり、小型の成虫が見受けられるようになっており、生息に何か影響がないか心配されます。

### イ) 飛翔のピーク

ゲンジボタルは、日没後の8時～9時、11時～12時、2時～3時の3回飛翔のピークがあります。

### ウ) 地域による発光秒数の違い

ゲンジボタルの発光は、関西の2秒型・関東の4秒型があり、鳥川(岡崎市)は2秒型です。

### エ) ゲンジボタルが活発に活動する条件

闇夜(月明かりが無)、無風状態、高温(25度以上)、多湿の日に活発に活動します。また、街路灯や車のライトなどが当たらないことが重要です。

### オ) ホタルの発光の原理

ホタルの発光物質は「ルシフェリン」とよばれ、「リシフェラーゼ」という酵素とATPが働くことで発光します。

ホタルの光は「冷光」とよばれ熱をほとんど出しません。

### カ) 生活史の全段階で発光

ゲンジボタルは完全変態する昆虫で、「卵」・「幼虫」・「サナギ」・「成虫」のすべての段階で発光しますが、光が点滅するのは成虫だけです。

### キ) オスとメスの発生と数の割合

ゲンジボタルは、オスの方が早く発生し、少し遅れてからメスが現れます。

数の割合はオス10に対してメス3で、圧倒的にオスの方が多く発生します。

### ク) ホタルの種類

ホタルの仲間は、世界では2,000種類以上が確認されており、日本では約50種類が生息しています。日本のホタルのうち、発光するのは約半分の種類で、幼虫が水の中で過ごすのは、「ゲンジボタル」、「ヘイケボタル」、「クメジマボタル」の3種類だけです。

(ホタル学校名誉校長・古田忠久)

# 大好評！6月7日・13日開催！ ホタルガイドツアーの紹介

6月7日(木)・13日(水)の2回、「ホタルガイドツアー」を開催しました。

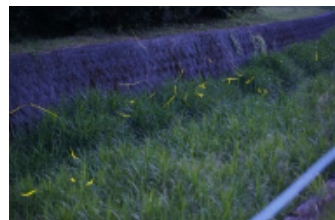
18時30分、多目的室に集まり、鳥川ホタルの里と今年のゲンジボタルの発生状況を紹介した後、「ホタルクイズ」に挑戦してもらいました。ホタル学校にはホタルに関することがたくさん紹介してあるので、展示物の中から自分たちで答えを探してもらい、最後に答え合わせしながら詳しく解説しました。メスは光らないと思っている人が結構多いように、先入観や間違った認識のままで光の舞を見るのではなく、基本的なことだけでも知ってから見るので、この後の観察がより楽しみになったのではないかと思います。

外が暗くなったところで運動場に集合し、注意事項を再確認していよいよ光の舞観察に出かけます。

ホタル学校を出て県道に架かる橋では、上流側で数匹、下流側では十匹ほどの光りが確認できました。これだけでも参加者は喜んでいましたが、インフォメーション横辺りの堤防に移動すると、草や木の間でたくさん光っており、しばらくすると飛び立つ姿が見られ、この光景に歓声が起こり、しばらくの間皆さん見とれていました。

この辺りから下流の農道までの間では数十匹、県道から川が山の方に向かい、片側が山に沿う所ではさらに数が多くなり、車のライトや月明かりが届かない所では、たくさんの数が盛んに飛び交う光景を見られました。

ただ眺めるだけでなく、明滅間隔や飛び方、人工灯の影響などを解説しながら案内しましたが、先にホタルクイズで学習したことを含め、実際に自分の目で確かめることができ、ゲンジボタルへの理解が深まり、さらにはこの体験を通して身近な自然や生き物に興味を持ち、自然保護意識を高めてもらうことができたのではないかと思います。



## とっかわの年中行事

### 「七夕まつり」

旧暦7月7日の夜であるが、現在では新暦や月遅れの8月7日に行われたりする。

飾り付けは、その年に生えた若竹を笹の葉につけたまま使う。

子供たちのする仕事で、朝早く、里芋の葉にたまっている露を集めて墨をする。毛筆で願い事を書くと言えられると言い、習字が上達するという。短歌や願い事や七夕に関する言葉などを楽しんで書く。

短冊は紙こよりや草の葉、しゅろの葉を細く裂いたものなどで竹につるされて、軒端に飾られる。

縁側に供え物をする。  
西瓜、なす、胡瓜、とうもろこし、南瓜、ほおずきなどの夏野菜を供える。  
新暦では、まだ、夏野菜のはしりで、家で収穫できないものもある。そうして農作物の豊作を祈り感謝する。

翌朝、その竹を田畑に挿しておくと言われているという。(ニンヤ組)

片岡禮子著  
「とっかわの里」より



里芋の葉から露を取る



## 過去最高を記録！

### 2018年のホタル飛翔数

鳥川ホタルの里では毎年飛翔数を記録しています。  
今年は5月16日に早くも飛びはじめ、6月10日に1462匹で過去最高を更新。1400匹を超えた日が、6月9日、10日、13日、14日の4日を数えました。  
日頃の保護活動の成果が表れた結果といえます。

## とっかわ星空コラム

### ★火星大接近★

7月31日は15年ぶりに火星が地球に大接近します。地球は、ほぼ円軌道で太陽の周りを回っていますが、火星は楕円軌道で回っているため接近したり離れたります。大接近となる今年の夏は夜半、南の空に赤く輝く火星の姿が見られます。

天体望遠鏡で見ると写真のような模様が見えるはずです。

火星人も地球を見ているかもしれませんよ。(笑)

岡崎市ホタル学校では、8月11日(土)に火星観望会を行います。詳しくは市政だより7月15日号をご覧ください。

